

レトロなまち青葉区

技術革新・都市化が進む中で、昔とはすがたが変わってしまったもの。そのまま残っているもの。このトピックでは昭和から江戸時代まで、広い意味での「レトロ」を感じられるスポットの紹介をします。また写真を通して今と昔の仙台のまちを比較します。そして歴史の専門家・木村浩二先生に青葉区の魅力について、インタビューをしました。

レトロスポット紹介

～昭和レトロの象徴 横丁めぐり～

レトロといえば横丁! 壱式参(いろは)横丁や文化横丁、虎屋横丁など青葉区には横丁が数多く存在し飲食店が軒を連ねています。レトロな雰囲気たっぷりのお店から、若者に人気のおしゃれなお店までぜひお気に入りのお店を探してみてください!



～街歩きで見つけるレトロなものたち～



西公園のSL

東北本線の全線電化にともない不要になったSLを、当時の小学生からの手紙をきっかけに、保存することが決定したという素敵なエピソードがあります。



西公園のこけし塔

SLのすぐそばに建っている大きなこけしです。令和5年、建立以来40年ぶりに塗り直しが行われました。



丸型ポスト

昭和レトロにはおなじみの丸型ポスト。現在ではすっかりみかけることはなくなりました。青葉区内に3か所あるそうですがそのうちの1つが、上杉の勝山酒造の隣に設置されています。

るーぷる仙台

市内の観光スポットを結ぶ循環バス。レトロな車体がとってもおしゃれです。内装もいい雰囲気なので、各スポットを回るのに乗ってみてはいかが？



～見ようによってはレトロ？ 歴史情緒感じる穴場の寺社仏閣～



輪王寺

伊達家ゆかりの寺院。奥の庭園では四季折々の素晴らしい風景を眺めることができます。ASIPPのフィールドワークでも訪れ、メンバーにもとても好評でした。周辺の北山五山や青葉神社とあわせて、ぜひ訪れてほしいスポットです。



三居澤大聖不動尊

森の中にひっそりとたたずんでいます。奥まで行くと滝があり、とても神秘的な雰囲気を感じます。江戸時代からの長い歴史がある場所です。

近くにある電気百年館もオススメです！実はここが日本水力発電発祥の地であり、東北で最初に電気の灯りがともった地でもあるという歴史ある場所です。こちらにもぜひ足を運んでみてください。



青葉の「いま」と「おかし」を知る

青葉今昔探訪



二代目駅舎



三代目駅舎



四代目駅舎



六代目駅舎



仙台駅の歴史は1887年(明治20年)に始まり、戦災による焼失や新幹線開通を経て今の駅舎で六代目といわれています。空襲により二代目駅舎は焼失し、その後急ごしらえで三代目駅舎が建てられました。当時は自動車も普及して日が浅く、人力車もまだ現役でした。ほどなくして四代目に建て替えられました。駐車場にタクシーや乗用車、手前には仙台市電が見えます。六代目は東北新幹線の開業にあわせて建てられました。国内最大規模のペDESTリアンデッキが整備され、この頃にはすでにほとんど現在の駅前の形になっています。下段は現在の仙台駅です。当時と同じ場所で東北の中心駅として大きな賑わいを見せています。



昭和40年代の青葉通



昭和40年代の中央通



青葉通は戦後の土地区画整理事業により誕生しました。オフィス街が広がる一方、植樹されたケヤキ並木が杜の都のイメージづくりに大きく貢献しています。



仙台駅と仙台城大手門を結ぶ中央通は古くから賑わいを見せていました。1965（昭和40）年に屋根で覆われアーケード化。今でも休日は買物客や観光客であふれかえります。



昭和30年代の東一番丁通



昭和50年代の東一番丁通



東一番丁通（一番町四丁目商店街）はかつては侍屋敷でしたが、商店街として発展しました。アーケードの完成後すぐは自動車の通行が可能でしたが、のちに歩行者天国になりました。右上の写真にはかつての待ち合わせ場所の定番であった水時計が写っています。2003（平成15）年に撤去されましたが、現在も「デイズスト前」として待ち合わせ場所の定番になっています。



仙台城の大手門は国宝に指定されていましたが、仙台空襲により焼失してしまいました。現在、復元に向けた発掘調査が行われています。



初代本庁舎



二代目本庁舎



二代目の後ろに建つ三代目本庁舎



市役所の初代本庁舎が完成したのは1878(明治11)年。当時は平屋建てでした。

二代目本庁舎は1929(昭和4)年に完成しました。3階建てで、正午を知らせる中央のサイレン棟が特徴的でした。

現在の本庁舎は三代目です。地上8階、地下2階建てで二代目庁舎の後ろに建つ形で1965(昭和40)年に完成しました。二代目庁舎が解体された跡地は噴水広場になりました。

現在四代目の新庁舎への建て替え工事が進められており2028(令和10)年の完成を目指しています。

《写真提供:仙台市戦災復興記念館》

歴史の専門家に聞く!

今、推したい青葉の魅力

伊達政宗が治めた仙台、青葉。そんな青葉区の歴史的な魅力について“まち歩きの達人”とも呼ばれ、現在各所で仙台の歴史についての講演を多数行っている木村浩二さんにお話をうかがいました。



□仙台の街の歴史

「ズバリ、青葉区の魅力とは？」

仙台の中心というところですね。市役所や県庁などの行政機関も集中しているし、仙台駅などの交通の中心も集約されていますし、都市の中核機能は全部ありますよね。だけどそれをベースにして広瀬川や青葉山といった自然も豊かです。400年の歴史の中で古いものもたくさん残っています。ですから仙台に来て日が浅い方も、長く住んでいる方も古いものにもっと目を向けてほしいですね。

仙台の街の始まりの話をする、スタートは1600年12月。古くからの街道を城の近くまで迂回させて当時の奥州街道を作りました。そのころの城下町は八幡町から五橋のあたりまで。そこから30年後に今の宮城刑務所の場所に若林城ができて、50年後くらいに東照宮とその門前のまち(宮町)ができて、城下町は東部方面に拡大します。だいたい90年くらい経った元禄のころが一番繁栄して、人口は約6万人。当時の弘前や米沢が3万人位ですから倍

近いですね。このころから東北の最大都市だったわけです。その後は大火や飢饉で浮き沈みが激しくなります。江戸時代の絵図を調べてみると侍屋敷が一番多かったのが元禄の頃で3,200人くらい。そこから江戸中期以降にかけて少し減ってしまうのです。仙台藩の侍は在地にも土地を持っていて、戦のないときはそこで農作業に励む、いわゆる半農半士でした。”侍”ってというと戦で刀を振り回して〜ってイメージが強いですが、それは戦国期のことで、藩政期になってからは実質は地方公務員のようなものなんですね。江戸時代も中期以降は大火や飢饉などの災害に見舞われ、幕末の頃の絵図を見ると、侍屋敷は2,400くらいまで減っています。そういうわけですと右肩上がりだったわけではないのですが、明治以降、鉄道敷設などインフラ整備により企業の参入や商業の発展でどんどん人口が増えて109万人にまで成長していったわけです。

□商業のまち、仙台

今の仙台の中心部はほとんど侍屋敷でした。今「一番町」と表記しますが、本当は「東一番”丁”」と書かなければいけないんです。「丁」という表記は侍屋敷を意味していて、「東一番丁」というのは「奥州街道から数えて東に一本目の侍の街」という意味です。それが北と東に10番まで伸びていて、「北四番丁駅」とか「東六番丁小学校」などはその名残です。その地域は全部侍屋敷でした。商店街はどこにあったかということ、お城からまっすぐのびてきた大町から今のアーケードまでの中央通りで、これが江戸時代の東西の中心路線です。そこと直交する奥州街道は街道沿いにお店が連なっていたようです。あとはかつて芭蕉の辻の北西にあった肴町や立町のあたりに商家のならば町がたくさんあって商売が盛んだったようです。よその城下町ではこういうことはありえない。町の真ん中はほぼ間違いなく城で、その周りに町



ができて城を守るんですよね。仙台藩ではそれをせずに、広瀬川を外堀に見立てて城を守り、城下は芭蕉の辻を中心に商業に力を入れた。政宗公は城よりも町の繁栄を大事にしたのではないかと思います。ほかの城下町は防御のために道を複雑にするのですが仙台ではほとんどしていない。多分人流や物流を止めないようにオープンなつくりにしたのだと思います。あとは水害のリスクを考えて広い海側の低地に町をつくらずに丘陵に囲まれた台地上につくったのも賢明な策でしたね。海側の土地は新田開発をして米を作らせました。いまでも「○○新田」という地名がのこっているでしょう？よく私はアベノミクスの上に行く「マサムネミクス」だといろんな講演会で言っています。当時仙台の石高は 62 万石あったといわれています。これは加賀の前田 100 万石、薩摩の島津 72 万石、それに次いで3番目ですからそれだけでもすごいと思うのですが、実はこれは帳簿上の数字で実際は 120 万石とか 150 万石ぐらいあったという説もあるようです。余計に取れた米に関しては藩で買い取って江戸に持って行って売ったんですね。当時の江戸といえば世界最大の 100 万都市で、住民たちは毎日米の飯を食べるわけですよ。そこに仙台から米を持って行って庶民でも買いやすい低価格で売ったんだそうで、一番流通したときは江戸の流通米の 3 割は仙台の米だと言われたこともあったそうです。政宗公以来、仙台藩は商売上手でもあったんですね。そういうものが礎になって今の繁栄につながっているのかなと思います。

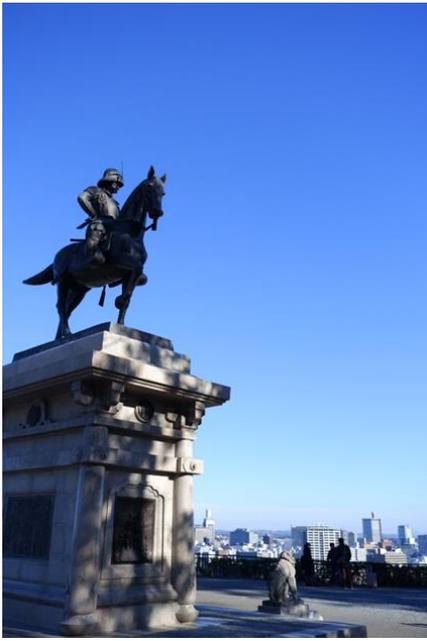
□杜の都のルーツ

仙台のこと「杜の都」って言って定禅寺通とか青葉通とかに観光のお客様がいらっしゃいますけれど、あれは第 2 次世界大戦後の復興の植林で造った並木です。元々の杜の都の原風景は江戸時代の侍屋敷の屋敷林なんです。藩の奨励で広い屋敷地の中に実のなる木を植えて飢饉に備えたり、火事後の建て替え用の建材にしたり、生垣にはお茶の木を植えたりしていたようです。ですから多分当時は本丸から見たら、鬱蒼とした森が広がっているように見えたと思います。明治時代中期頃の観光パンフレットにはもうすでに「森の都」の表記がありました。仙台空襲からの復興の時に当時の仙台市民のなかでその杜の都のイメージがあったんでしょうね。それで青葉通や定禅寺通の広い復興道路に植林という形になったんだと思います。街の発展と自然の確保とそれぞれうまくやってくるなと思います。それが青葉の魅力というより仙台全体を代表する魅力にもなるんじゃないかなと思うんです。

□今見直すべき仙台城の魅力

「今、青葉区民に訪れてほしいところは？」

今さら月並みだと思われるかもしれませんが、改めて仙台城をもう一度しっかり見てもらいたいと思います。みんな山の上に行って景色を眺めてあとは帰ってくるだけ。それではお城をみたことにはなりません。お城のあるあたりを広く「川内」と呼びますが、東京の丸の内とかと同じで城の内側、つまり広瀬川から手前は全



部お城だっていうことなんですね。だからお城を見るときは二の丸、三の丸もぜひ見てほしい。あそこも含めてお城です。案内をしていると「天守閣はないの?」という方もいらっしゃるんですが、もともと天守閣は作る計画はなかったんです。城は戦をするための砦ですから。西軍の上杉方をけん制するために急いで岩出山から移動してきているのですから天守閣など造っている場合ではなかったのでしょう。築城しはじめて間もなく戦の時代は終わったのですが、天守閣は造られずでした。御殿はたくさん建てたようですが、毎日の坂の登り下りが大変で、戦用の山城は不要にもなり、若林に屋敷と称して2つ目の城を造って、晩年は若林城で暮らしたようです。2代忠宗公以降は新たに造った二ノ丸が藩の政庁になったので、山の上の本丸は普段はもう誰も使わなくなってしまったんですね。

あと特に気を付けてほしいのは皆さん青葉城、青葉城と呼びますが正式には「仙台城」だということです。十数年前に国の特別史跡に指定されたのですが正式名は「仙台城」で登録されています。青葉城という表記は江戸時代から正式には殆ど使われることがなかったようです。青葉山にある城だからそう呼ばれている俗称です。

私が「仙台」という名称にこだわる理由はこれが政宗公のこだわりでもあるからです。政宗公が来る前は「千代」と書いて「せんだい」と読んでいました。政宗が城や街づくりを始めるときに「仙台初見五城楼」という漢詩の一節から「仙人の住む高台」という意味で「仙台」に表記を変えた。もしかしたら自身を仙人になぞらえたのかもしれませんが。まさにあの本丸の高台から見下ろして、ここからこの国を治めるぞという気概で城と国づくりをしたのではないかなと思います。そういう経緯も踏まえて、名前にもこだわった上でもう一度仙台城をきちんと見直してほしいと思います。

□仙台の歴史に興味をもったきっかけ

最初は大学でしたね。東北学院大学の史学科(現在の歴史学科)に入学しました。生まれは塩竈ですが、中学、高校、大学と学生時代はずっと仙台に通いました。元は地理が好きだったので史学科に入ったのですが、そこで考古学に出会い、大学1年生の夏に研究サークルの合宿で大郷町の古墳の発掘に参加しました。そこから考古学にはまりました。

大学卒業後は、一時、福島県で遺跡調査に携わったのですが、仙台に戻ってからは太白区の郡山遺跡の調査、若林区の薬師堂にある陸奥国分寺跡の調査や、富沢の地底の森ミュージアム建設担当など、やりがいのある仕事を沢山させてもらいました。最後は仙台城本丸の石垣解体修復工事に伴う調査に広報担当として加わりました。それがきっかけで江戸時代の城と城下町にも興味をもち始めたのです。

□“街歩きの達人”がうまれるまで

一人で知識を集めているだけだともったいないからと城下町のまち歩きをしたり解説をしたりしているうちに、たまたま講演を聞きにお願いされていたNHKの制作担当の方に声をかけられて番組内のコーナーのアドバイザーになって(てれまさむね内の「てれまさむね」)企画

を提案したり番組にも出演させてもらったりしたんです。それが東京のNHKの目に留まって、仙台のプレゼンをしたんですよ。そこからブラタモリで仙台を取り上げることが決まって、最終的には案内役までさせていただきました。それがきっかけになって、講演や街歩き案内の依頼を沢山いただくようになり、退職後はそれを含め、仙台のアーカイブ資料をみんなで楽しく活用しようということを仕事にするために「ジモトアーカイブせんだい」という会社を仲間たちとつくりました。博物館収蔵の貴重な古い絵図を紙に印刷したり、風呂敷にしてその宣伝のための講演をしたりとかいろいろのことをやるようになりました。私の本当の専門領域は飛鳥・奈良時代で、じつは江戸時代はサイドワークなんですけど、皆さん江戸時代の話をお聞きになりたいみたいで、主にお城や城下町のお話をさせていただいています。文献資料ではなく絵図をもとにして街の中を歩きながら、文字に書かれていない城下町の本物の姿をみつけて紹介する。「今、江戸時代の人と同じところを歩いているよ」という話をすると臨場感も伝わります。難しい親しみやすい歴史の話をして楽しんでもらうようにしています。

□ブラキムラの野望

芭蕉の辻の再興ですね。かつてはあそこが商業の中心だった。古い資料を見ると四つ角に立派な二階建て瓦葺きの建物が建っているんですよ。様式的には城の櫓と同じような建物です。お城に天守閣を作るよりも、町の真ん中に商業都市仙台のシンボルとして櫓のような建物を建てたんですよ。建物の屋根には大きな龍を2匹ずつ、計8匹の龍が辻を見下ろしていた。龍は水の神様だから火事に合わずに繁栄できるようにという守り神なんですよ。それらで商業の振興を図ったわけです。あの場所に江戸時代の賑わいを取り戻したい。



第一歩として信号に「芭蕉の辻」の銘板をつけていただきました。次は電線・電話線の地中化です。まちづくり協議会の方々が精力的に動かれていて、関係機関の了解も得られたようなので、実現すれば、江戸時代の空が戻ると思いますよ。まちづくり協議会のプランでは、フラット舗装もお考えのようですので、江戸時代の元の道の幅を今の道路に表示できないかとも思っています。

普段何気なく歩いている街中の通りの8割は江戸時代の道筋そのままだと思います。主要な通りの名前も江戸時代のものを復活させたらいいなと思っています。金沢市では20年前から条例を定め旧町名を復活させる事業を行っています。仙台でもきっとできると思っています。こんな感じでいろんなアイデアがあるので、若い方にもぜひアイデアを出していただけたらいいなと思います。

木村浩二さんプロフィール

元仙台市文化財課職員。在職中に「ブラタモリ」の仙台回で案内役を務めた。現在は宮城学院女子大学の非常勤講師や(一社)ジモトアーカイブせんだいの理事を務めるかたわら市民向けに講演やまち歩きなどを行っている。





ロケーションのまち 青葉区

映画やテレビ番組に登場する景色や街並み、アニメに登場する場所の

モデルとなった場所(ロケ地)。

青葉区には、ロケ地となったロケーションのほか、魅力的なロケーションがたくさん。

青葉区のロケーションがもつ魅力をご紹介します。

Contents (目次)

Topic 1

青葉区民まつりアンケート

ロケ地になってほしい!選ばれたロケーションベスト3

Topic 2

青葉区ロケーションめぐり

青葉区の素敵なロケーションを写真で紹介

Topic 3

ロケーションめぐり ウォーキングマップ

素敵なロケーションに出会えるベストコース



Topic I 青葉区民まつりアンケート

青葉区で、今後ロケ地に選ばれてほしいロケーションはどこですか？
青葉区民まつりにご来場のみなさんにアンケートを実施しました。

第1位 西公園(桜)

お花見の名所として有名な西公園。
西公園は、映画のロケ地に選ばれた
ことがあります。
希望の多かった桜の時期に、撮影が
あるといいですね。



第2位 定禅寺通(光のページェント)

光のページェントの時期の定禅寺通は、冬の
王道デートスポット。デートシーンの撮影に、ぴっ
たりなロケーションです。
仙台を代表するロケーションとして、数多くの
映画や番組がここで撮影されています。

第3位 勾当台公園

年中開催される様々なイベントに
多くの人々が訪れ、賑わっている場所。
仙台を代表するロケーションです。
映画や大手飲料メーカーのCMに登
場したことがあります。



Topic2 青葉区ロケーションめぐり

アンケートで、ロケ地になってほしいと選ばれたロケーションめぐりへ。

その他、まちめぐりで見つけた素敵なロケーションをご紹介します。

中には、ロケ地に選ばれたことのあるロケーションも。

おおよその位置をマップにしました。ぜひ、実際に足を運んでみてください。



牛越橋

橋からは、青葉山の街並みや広瀬川の河川敷を見渡すことができます。



仙台ファーストタワー

4階のテラスにベンチがあります。都心部のオアシスのような場所です。



県庁前イチョウ並木

秋のイチョウ並木が特に美しいです。
映画のロケ地にも選ばれています。



仙台駅前

ペDESTリアンデッキが象徴的。
ロケ地にも選ばれています。



SS30 展望台

仙南方面、海まで一望できます。
景色に加え、展望台もきれいです。



AER 展望テラス

東西に展望テラスがあり、西側からは市街地を見下ろすことができます。



せんだいメディアテーク

有名な建築家が設計。多くの作品の
ロケ地にも選ばれています。



国際センター

青葉山の豊かな自然と調和した
近代的な駅舎と施設群。



大崎八幡宮

初詣、どんと祭の時期は提灯が
幻想的です。



仙台城跡

仙台市街を一望。番組の冒頭によく
登場する、仙台を象徴する場所です。



壱式参(いろは)横丁

仙台の夜といえばここ。裏路地感が
あふれています。映画のロケ地です。



虎屋横丁

並ぶ看板がレトロな雰囲気を
醸し出します。ドラマのロケ地です。



文化横丁

レトロな雰囲気の看板と提灯が
幻想的。ドラマのロケ地です。



仙台朝市

仙台の台所。グルメ番組によく登場し
ます。映画のロケ地でもあります。

Topic3 ロケーションめぐり ウォーキングマップ

約3キロメートル、余裕をもって1時間のウォーキングコースです。

素敵な景色がみられるベストコースを、ぜひ歩いてみてください。

広瀬川の周辺を歩くときは、夕暮れの時間帯がおすすめです。

① 広瀬川澱緑地



広瀬川と地層

② 澱橋



川面に映る市街

③ 仲の瀬橋



地下鉄東西線



④ 歩道橋



青葉山と夕暮れ

⑤ 青葉通



木陰でひと休み

⑥ 仙台駅



青葉通方面

恋愛青葉区

区民まつりにご来場のみなさんに大切な思い出をお聞きして作成しました!コメント付きで楽しめる内容となっておりますので、ぜひ大切な人と一緒にご覧いただければと思います!

青葉区民の思い出の場所

光のページェント

仙台の王道デートスポット!
やっぱりここは外せない!

- ・学生時代に一緒に観に行った方と結婚しました!
- ・クリスマスにはもってこいです!

七夕まつりの花火大会

仙台の夏の定番スポット!
大迫力の花火が見られます!

- ・花火大会で告白されました!
- ・花火大会の待ち時間がきっかけで仲良くなりました!

仙台城跡

伊達なあの人がいるところ!
夜にはライトアップもされています!
います!

- ・夜景がとってもロマンチック!
- ・夜景を見てドキドキしました!

青葉神社

運命の相手と出会ったとの声が多かったのがこの場所！
縁結びにいいかも！

- ・青葉神社で挙式をしました！
- ・妻とは青葉神社で出会いました！

ベニーランド

言わずと知れた仙台の有名遊園地！サクッと行ける立地も魅力です！

- ・一緒に観覧車に乗ったことが思い出です！
- ・遊びに行ったことが仲良くなるきっかけになりました！

仙台駅周辺

仙台のシンボルとも言うべき仙台駅！アーケードがとっても便利！

- ・遠距離恋愛中は、よく仙台駅周辺でデートしていました！
- ・アーケードでよく遊びました！

八木山動物公園

動物と触れ合いたいならここ！癒されに行きましょう！

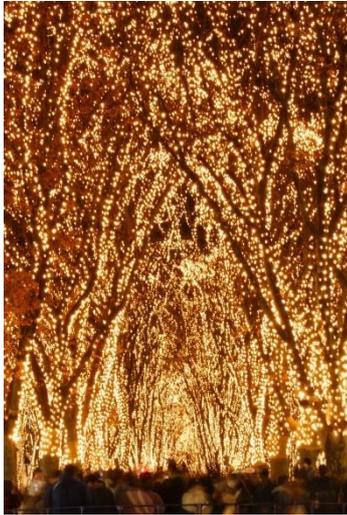
- ・初デートで遊びに行きました！
- ・クリスマスに遊びに行きました！

SS30

30階から見下ろす夜景はロマンチックな雰囲気になること間違いなし！

- ・夜景を一緒に見に行きました！
- ・仙台で夜景を見るならここ！

告白♡プロポーズ スポットランキング



1位 光のページェント

仙台を代表するイベントが堂々の第1位でした!あの雰囲気の中なら素直に気持ちが伝わるかも!

- ・雰囲気たっぷりで綺麗です!
- ・王道のスポットだと思います!

2位 AERの展望台

仙台駅からもアクセスの良い夜景スポットがランクイン!
もし気になる人から誘われたら期待しましょう!笑

- ・夜景がとてもきれいでした!
- ・ロマンチックな雰囲気が◎



3位 仙台城跡

夜景も素敵なこのスポットが僅差で3位でした!やっぱり大切な日は素敵なスポットで過ごしたいですよ!

- ・友達のプロポーズが大成功!
- ・いい雰囲気でした!



青葉区穴場 デートスポット

大町西公園

桜で有名なお花見スポットですが、
夏は花火大会、秋にはワインや日本
酒フェスなどイベント盛りだくさん
です!

- ・都市から自然への移り変わりが楽しめるスポットです!
- ・西公園から大橋を渡るのも非日常を感じられます◎

- ・イベントたくさんで楽しめます!
- ・夜の雰囲気もおすすめです◎

国際センター周辺

おしゃれなテラスやカフェの他にも
最近では緑彩館など新たな見どころも増えております!

たくさんの方の素敵な思い出に触れながら
楽しく作ることができました!
アンケートにご協力いただいた皆様
ありがとうございました!!

